



岐阜県現代陶芸美術館では、下記のとおりコレクション展を開催いたします。
このたびは2つのテーマ展示により、岐阜県現代陶芸美術館のコレクションを紹介します。
貴媒体での取材や紹介のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆基本情報

**東海の陶造形
令和5（2023）年度新収蔵品**
**ギャラリーII A室
ギャラリーII B-D室**

主催	岐阜県現代陶芸美術館
会場	岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーII
会期	2024年7月13日（土）～9月29日（日）
休館日	月曜日（ただし、7月15日、8月12日、9月16日、9月23日は開館）、 7月16日（火）、8月13日（火）、9月17日（火）、9月24日（火）
開館時間	午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
観覧料	一般340円（280円）、大学生220円（160円）、高校生以下無料 *（ ）内は20名以上の団体料金 *以下の手帳をお持ちの方および付き添いの方1名まで無料 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費（指定難病）受給者証 *特別展開催時は、特別展観覧券でも観覧できます
同時開催	ギャラリーI ● リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界—クラシックな名作とともに 2024年6月8日（土）～8月25日（日） ● 「清流の国ぎふ」文化祭2024 生誕130年 荒川豊蔵展 2024年9月14日（土）～11月17日（日）

*会期中の催し、最新の情報につきましては、当館ホームページにてご確認ください。

<https://www.cpm-gifu.jp/museum>

広報用写真の利用について

本展覧会を紹介いただける場合に限り、裏面①、②の画像データ（1点300～500KB程度）をお送りします。
希望される方は、次の必要事項を記載し、下記担当までメールまたはFAXにてお知らせください。

1.利用希望の写真の番号（①・②）/2.貴社名（ご担当者名）/3.ご住所/4.電話番号・FAX/5.E-mail/
6.掲載媒体名/7.題目/8.掲載予定日/9.その他（連絡事項などある場合）

【本展に関するお問合せ・写真利用申込】

担当 花井・廣澤・野田（岐阜県現代陶芸美術館 学芸部）
岐阜県多治見市東町4-2-5（セラミックパーク MINO 内）
TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101
E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp

【ギャラリーII A室】

東海の陶造形

東海地方の岐阜県と愛知県の陶磁器産地では、1960年代に、伝統的な器とは異なる現代造形的な陶作品が生み出されるようになりました。その新しい陶造形の現代までの多彩な展開を、当館のコレクションから紹介します。

【出品作家】

天野裕夫、伊藤慶二、伊村俊見、小塩薫、
七代加藤幸兵衛（加藤裕英）、加藤委、
川村秀樹、鯉江良二、鈴木五郎、
中島晴美、長江重和



①小塩薫《痕跡からの結晶－泡の靴》
1994年 岐阜県現代陶芸美術館蔵

【ギャラリーII B-D室】

令和5（2023）年度新収蔵品

令和5（2023）年度に当館が収集した作品（購入3点、寄贈36点、寄託2点）よりピックアップして紹介します。岐阜ゆかりの作家のうつわから、陶による造形の世界に挑んできた作家の作品まで、日本の近現代の陶芸のさまざまな姿を伝える作品をお楽しみください。



②豊場惺也《瀬戸黒茶坑》
1980年代 岐阜県現代陶芸美術館蔵

加藤土師萌、栗木達介、塚本快示、坪井明日香、
豊場惺也、三輪龍氣生（三輪龍作）

学芸員によるギャラリートーク

2024年7月21日（日）、8月18日（日）14:00～14:30

* 聴講無料、要観覧券（高校生以下無料）、事前申込不要